



アド・ネ ッ ト

☆青少年育成アドバイザー関連のホームページ☆ <http://www.shimane-youth.gr.jp/category/news/adviser>

アドネット編集：野坂茂樹



今回のトピックス

平成26年度「島根県青少年育成アドバイザー養成講座（基礎研修）」が出雲市の島根県立青少年の家「サン・レイク」で開催され、青少年指導者としての基礎知識や今日の青少年を理解する手掛かりを学びたいと意欲のある方（安来・江津・浜田・松江など県内各地から5名が参加、アドバイザー12名もスキルアップ研修として参加）が、2日間の養成講座を受講しました。建物の外は雪が舞うあいにくの天候でしたが、研修室の中では、様々な分野で活躍されている講師陣による熱い講座が展開されました。表紙の写真は、アドバイザーと受講生の皆さんが一緒になって受講後に撮影したものです。詳細につきましては、次のページをご覧ください。

平成27年度島根県青少年育成アドバイザー連絡協議会総会の予告

平成27年5月31日（日）午前10時から 江津市桜江町 長玄寺（岡本アドバイザーさん宅）
※詳細は後日お知らせしますので、皆さんぜひご参加ください！！

平成26年度 島根県青少年育成アドバイザー養成講座（基礎研修）開催

●1日目 講義、演習から情報交換会まで

講義Ⅰは原会長による講義で「青少年育成とアドバイザーの役割」について、これまでの青少年指導者のための通信教育の沿革と新旧テキストの比較、テキストの内容を詳細に説明されました。

続いて演習Ⅱでは、花田敦子アドバイザーによる流暢な出雲弁による民話の読み語りを披露していただき、受講された皆さんは民話の世界を満喫しました。

午後からは、島根県弁護士会弁護士の佐藤力先生による「青少年に係わる法律」について、ネットトラブルやいじめなどの問題における法律での対処方法、相談先などについてパワーポイントでわかりやすく説明いただきました。

その後、演習Ⅱとして「青少年の理解（相談・助言）」について島根学校相談学会理事の藤原寛先生に説明いただきました。「ことば」による自己支援で、自分が大切にしていることを「ことば」にして表現する作業をアイスブレイクを用いたりしながら、和気あいあいと行いました。



花田アドバイザーの語り部



佐藤 力 弁護士



藤原 寛 氏

★1日目まとめ：野坂アドバイザー★

●2日目 実践紹介から研修の振りかえりまで

「青少年における地域での実践事例」

○実践紹介Ⅰ 発表者：出雲市青少年育成市民会議副会長 中林 信夫 氏／今岡 三保 氏

【主な活動】年間を通して「出雲市青少年育成推進大会」や「青少年の非行・被害防止」など主に7つの活動を実施している。特に地域全体での取り組みとして、子どもの安心安全のため、日没から1時間程度「玄関灯をつける」呼びかけを行っている。・・・広く市民の総意を結集し、時代を担う青少年の健全な育成を図っておられることが伝わってきました。

○実践紹介Ⅱ 発表者：県青少年育成アドバイザー連絡協議会 高橋 賢史 アドバイザー

【主な活動】「適応指導教室 「あすなろ」の活動、青少年の居場所「ほっとスペースゆきみーる」の活動、NPO法人緑と水の連絡会議の活動の3本柱で頑張っている。今後の課題としては、各方面との連携、つながりを深めていきたい、と活発な活動の様子を発表されました。

○講義Ⅲ 講師：青少年育成島根県民会議事務局次長 林 和博 氏

「青少年や青少年育成に関する行政・法令や青少年育成島根県民会議の活動などを学ぶ」

- 1) 青少年の現状と課題。 インターネットの普及による問題点など
- 2) 青少年関係の法令、児童福祉法等の定義など
- 3) 行政の取り組み・支援（3本柱）

- 1、青少年の健やかな成長
- 2、環境整備
- 3、困難を有する子ども・若者の支援
- 4) 青少年の自主性や主体性を培う活動の推進

・高校生フォーラム、青年の主張県大会、青少年モデル活動支援 等

青少年島根県民会議の活動や各方面への支援、アドバイザーとの連携等のお話を聞きました。

○講義Ⅳ 講師：県青少年育成アドバイザー連絡協議会 原 史行 アドバイザー

「ワークショップの手法や発想法」

- 1) ワークショップとは何か、発想法の8つの手法を学ぶ
- 2) 事例を基にワールドカフェの手法で3つのグループを作り、体験的に学びました。



中林 信夫 副会長



高橋アドバイザー



グループワークの様子

※受講生、青少年育成アドが共に研修をし、自分の得意分野で青少年に関わり、地域の豊かな資源として社会参加が期待されています。

★2日目まとめ：辻まゆみアドバイザー★

ご挨拶

青少年育成アドバイザー連絡協議会 会長 原 史行

「自己効力感を高めよう」

アドバイザー連絡協議会の活動については、いつも大変にお世話になりありがとうございます。平成26年度最終のアドネットとなりました。今号が皆さまにとって、新年度に向けた新たなエネルギー注入の機会になりますれば幸いです。

さて、『自己効力感』という言葉があります。何事かを行う際に自分の力を信じられるかどうかで結果は左右されます。「何とかしよう。状況は厳しいか何とかやってやる」と思い切れれば、失敗したとしてもその経験はムダにはなりません。「自分にはできる」という自信のようなものが自己効力感といえるでしょう。

自己効力感を生み出すのは次の4つだそうです。

- 1 達成体験（自分が何かを達成した経験）
- 2 代理経験（他人が何かを達成することを観察）
- 3 言語的説得（自分の能力を言葉で説明され励まされること）
- 4 生理的情緒的高揚（集団の情緒にも乗せられて気分が高まること）

山本五十六の言葉を思い出しました。「やって見せ、言って聞かせて、させてみて、誉めてやらねば人は育たじ。」リーダーの態度として簡潔にして示唆多い言葉です。自己効力感が高い人の集団は、嫉妬や敵視といったマイナスの感情は少ないそうです。陰湿なイジメなどあるはずはないですね。自分も含めて、周囲に自己効力感が高められるように努めていきたいと思えます。

事務局より

平成26年度より事務局長を仰せつかり、1年間を皆様のご協力のもと、なんとかやってきました。行きとどかないことばかりだったこととお詫びいたします。

理事の皆様にも、お忙しい中、理事会などお集まりいただきありがとうございました。総会、総合研修会、養成講座と主な大きな活動も開催地の皆様のご協力が無事行えましたこと感謝いたします。27年度、5月の総会はいい季節での開催ですので、今まであまりお会いできていない方もぜひご参加いただき、多くのアドバイザーの皆様とお会いできることを楽しみにしております。1年間ありがとうございました。（森山 緑）

